

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



# 日造協

2016.3月号  
通巻 第504号

## ニュース

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

- 2、3面 【特集】第42回 全国造園デザインコンクール  
審査講評 藤井英二郎審査委員長ほか  
入選作品 (公社)日本造園学会会長賞 相澤那樹さんほか  
4面 【ふるさと自慢】愛媛県 中村敏治 (成瀬緑化産業株)  
鯛めし、松山城、道後温泉・・・待っとるけん、おいでもなし  
【緑滴】三村弥子・岡矢奈美子 (株山都屋)  
同じ景色を見て、同じ食事を味わって。

日造協会の方々への「日造協ニュース」は偶数月がPDF版の配信で、印刷物の発送は行っていません。会員の方々へのメールニュースへの添付、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。



文部科学大臣賞、特別賞受賞者と藤井委員長（最前列）をはじめ関係者で記念撮影

日造協主催 第42回

## 全国造園デザインコンクール

文部科学大臣賞に滋賀県立八日市南高等学校

国土交通大臣賞 瀧山若菜 さん (滋賀県立八日市南高等学校)

日造協は、第42回全国造園デザインコンクールの表彰式を2月13日、東京都千代田区麹町の弘済会館で開催。賞状の授与、受賞者による作品発表を行った。

全国造園デザインコンクールは、美しい国土と快適な生活環境の実現に欠かすことのできない造園空間のデザインと設計技術の向上を図ることを目的に日造協が主催。(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、全国高等学校造園教育研究協議会の共催、文部科学省、国土交通省、全国農業高等学校長協会、(公社)日本造園学会、NHKの後援で、日造協の事業委員会人材育成部会が事業の実施にあっている。

第42回全国造園デザインコンクール受賞者

賞 部門	氏 名	学校名	学年
文部科学大臣賞	滋賀県立八日市南高等学校校		
国文大臣賞	瀧山 若菜	滋賀県立八日市南高等学校	3
造園学会会長賞	相澤 那樹	東北工業大学大学院	2
日造協会会長賞	和田 優一	滋賀県立八日市南高等学校	3
CLA 会長賞	神田 奈緒	西日本短期大学	2
学校長理事賞	伊藤 亮平	山口県立宇部西高等学校	3
造園協議会長賞	稲本 克基	奈良県立磯城野高等学校	3
入選	住宅 竹内 徹	E & G アカデミー	1
入選	住宅 比企 豊	E & G アカデミー	1
入選	住宅 池田 悟	奈良県立磯城野高等学校	3
入選	住宅 遠藤 佑季	愛知県立猿投農林高等学校	3
入選	住宅 長坂ちひろ	山梨県立農林高等学校	3
入選	住宅 山口 彩香	新潟県立上越総合技術高等学校	3
入選	街区 端 哉汰	滋賀県立八日市南高等学校	3
入選	街区 谷口 亮太	滋賀県立八日市南高等学校	3
入選	商業 高橋 奎吾	長野県須坂園芸・須坂創成高等学校	3
入選	実習 上田 優介	中央工学校	2
入選	実習 伊藤 安里	東京都立農業高等学校	3
入選	実習 道本 理奈	山口県立宇部西高等学校	3
佳作	住宅 出田 千賀	E & G アカデミー	1
佳作	住宅 村上 徹	E & G アカデミー	1
佳作	住宅 中根 淑里	滋賀県立八日市南高等学校	3
佳作	住宅 瀬古美沙希	山梨県立農林高等学校	3
佳作	街区 後藤 昌巳	(株)景観プランニング	3
佳作	街区 大崎 昌寛	名城大学	4
佳作	街区 香村 朋佳	愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	商業 小宮山桃加	長野県須坂園芸・須坂創成高等学校	3
佳作	商業 澤田 隼弥	愛知県立猿投農林高等学校	2
佳作	実習 永嶺 峻太	西日本短期大学	2

第42回全国造園デザインコンクールは、「住宅庭園部門」に一般2、大学57、高校198、「街区公園部門」に一般1、大学56、高校53、「商業施設部門」に大学5、高校44、「実習作品部門」に大学9、高校14の合わせて、439点の応募があり、入選18点、佳作10点、奨学賞21点が選ばれた。

表彰式では冒頭、主催者より藤巻司郎日造協会長があいさつ。受賞者へのお祝いとともに指導された先生方や関係者への感謝、今後のコンクールの発展と社会への貢献に向けた期待を述べた。

次いで、田畑淳一文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官、町田誠国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長が祝辞を述べた。

その後、特別賞の授与、受賞者による作品発表が行われ、最後に審査委員長の藤井英二郎千葉大学園芸学部教授が講評を述べ、記念撮影を行い閉会した。

(2・3面に特集)



新潟県立上越総合技術高校へは天野副支部長が持参。木村勉校長より山口彩香さんに表彰状を授与した



東京都立農業高校へは田丸支部長から伊藤安里さんに表彰状を授与。鈴木教諭ら先生4名と保護者、支部から竹嶋事務局長が参加した



山梨県立農林高校へは斉藤支部長から長坂ちひろさん、瀬古美沙希さんに表彰状を授与。渡辺清美教諭、支部から山口事務局長が参加した



長野県須坂園芸・須坂創成高校へは山崎支部長から高橋奎吾さん、小宮山桃加さんに表彰状を授与。小椋勇人校長、鈴木芳昭教頭、塩島淳志教諭、支部から坂戸氏、高嶋事務局長が参加した

## 樹林

(一社)日本造園建設業協会理事

(株)日比谷アメニス 常務取締役 奥本 寛



## 最新技術と仲良くしましょう

本稿が会員の皆様のもとへ届くのは3月でしょうか。今年の干支は丙申(ひのえ・さる)で、十干の内は陽の火、十二支の申は陽の金だそうです。これは1956年以来60年ぶりのことで、当時の経済白書には「もはや戦後では無い」と書かれ、日本が高度成長期に向けて新たな飛躍を目指しスタートした年です。あれから60年、九州のホテルではフロント業務を恐竜ロボットがやっています。今年も早2カ月が経過し新年度が始まろうと言う慌ただし最中かと思いますが、皆様のご商売は如何でしょうか。

私たちを取巻く環境は、オリンピックを契機とした建設投資など一般の経済見通しでも建設業の明るさは目立ちますが、一方建設業への入職者減少や高齢化による熟練職人不足という造園業にとっても事業の根幹と成る大きな課題を抱えています。長期的には日本の労働力人口が減少する中で、これの対応を早急に進める必要が有ります。その為には建設業界における造園は規模が小さくとも、既に活用を始めているICT(情報通信技術)環境にもっと関心を持ち、更なる生産性効率の改革を図る事が必要不可欠です。

また建設業の生産性を大きく変える可能性を持つIoT(モノのインターネット)のような、あらゆるモノがインターネットを通じて繋がる事で、既に半自動で職人技を実現する建設機械や重作業を緩和するロボットスーツが実用化され始め、中でも日造協の会員

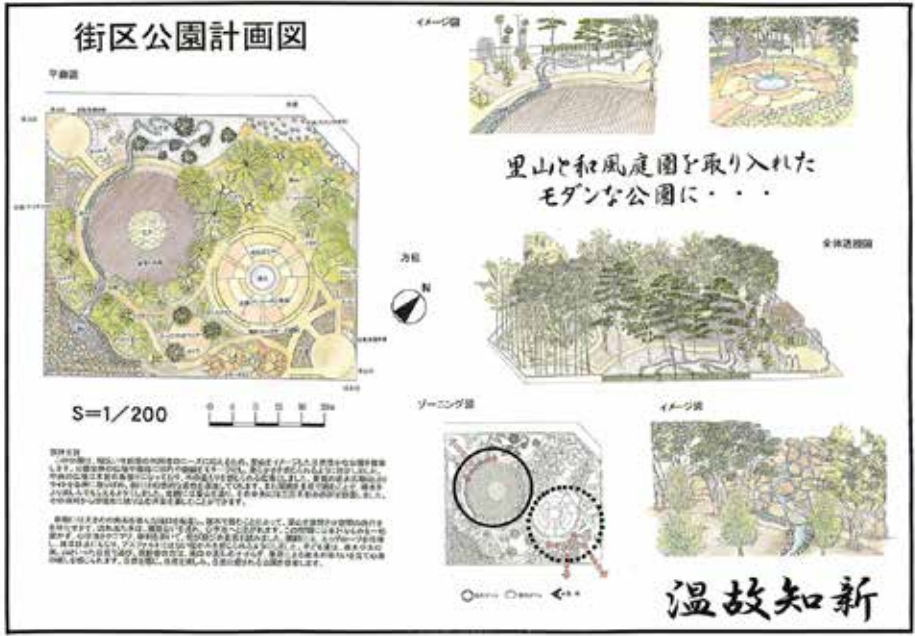
企業がいち早く導入し試行されたドローン(小型無人飛行機)による基盤造成工事では、現場の地形を3Dで瞬時に把握し、収集したデータを対応する建設機械にインターネットを介して送る事で、殆ど無人状態で造成工事を仕上げるなど、従来多くの人員が必要とされた仕事が劇的な省力化を図れるように成りました。さらに現場の管理業務にもIoTの活用がなされ、品質管理における設計図との照合の自動化や、ICタグを使った材料管理などがその典型です。

造園業は、伝統と繊細で高度な技術から成立っており、全てをこれにとって変える事は難しい事と思いますが、IoT関連の機器は日々進化しており、需要が高まれば導入コストもより身近なモノと成り、日本の少子高齢化による労働力不足は避ける事の出来ない現実ですが、私たちは最新技術を積極的に導入しこれを活用する事で、事業を取巻く種々の環境変化に柔軟に対応し、造園業を持続可能で継続性の高いものに変革して行かなくてはならないと考えます。

最後になりますが、今年の丙申は「変革の年」とも言われるそうです。予測される建設業の人手不足には安定的な雇用環境の創造が必須であり、担い手の確保に向けた就業環境や処遇の改善に努め、次世代が魅力を感じる職場を構築する為にも、皆様と共に60年ぶりと言う「変革の年」に相応しい事業変革を実現して行きたいと思います。

なお、これまで特別賞を除く、入選・佳作受賞者については、日造協本部より、賞状を受賞者に送付してきたが、可能な限り、直接お渡しできるよう改善を図り、日造協の各学校の取り組みへの協力や高校生等の雇用促進にも役立てようと、今

回から日造協支部を通じて、賞状をお渡しすることとし、5支部において実施し、表彰状や楯の授与のほか、意見交換なども行われ、学校から製図や安全指導への協力、インターンシップへの要望などもいただいた。



国土交通大臣賞 瀧山 若菜 滋賀県立八日市南高等学校

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！



# 第42回全国造園デザインコンクール 審査講評 入選作品

## ■藤井英二郎委員長

(千葉大学園芸学部教授)

今回は昨年より約1割多い439件の応募があり、2年続いて増加しました。

例年、社会的課題も視野に入れた楽しいデザインが多い高校生の住宅庭園部門ですが、今回は少し物足りませんでした。住宅は生活の中心ですので夢のある住宅庭園を提案して下さい。

一方、大学生の実習作品には素晴らしいものが多く見られました。自然を活かしながら、人の行動や感覚にも違和感を与えないことが特徴の造園デザインでは、施工・管理段階での設計が不可欠で、表彰作品にはその積み重ねを伺うことができました。

ここ1、2年、街区公園に素晴らしい設計が少ないように思います。面積2,500㎡の広さを実感し、周辺の土地利用を想像しながら、地域生活の核となる公園設計を期待しています。

社会資本の管理が大きな課題になっている今日、多くの分野で若手技術者不足が懸念されています。消費よりは循環が大切な定常型社会では造園が大きな役割を担わなければなりませんので、今回表彰された方々は若手技術者の先頭に立って活躍されるよう期待いたします。

## ■田畑淳一委員 (文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官)

今年度の応募数は、昨年度を一割ほど上回った。審査は、甲乙つけがたく長時間になったが、応募された生徒の皆さんの日頃の学習の成果と作品を仕上げるひたむきな姿勢を垣間見ることができうれしい限りだ。これまでの皆さんの努力と御指導いただいた先生方に改めて敬意を表したい。

今年度の文部科学大臣賞は、僅差ではあるが各作品の評価が高く、各部門できめ細かに指導されていた滋賀県立八日市南高等学校とさせていただいた。ここ数年、各校の指導力も向上し、指導者も世代交代に入ってきたことからどの学校が文部科学大臣賞を受賞してもおかしくな

くなってきた。次年度へ向け他校の指導力向上に期待している。

作品制作には、日頃から常に感性を高めるトレーニングや基礎的・基本的な技術習得が必要で、地道な取り組みが不可欠である。実習作品は地域のイベントや文化祭等で作成する機会や課題研究等による卒業制作等をうまく活用することで挑戦できる内容であり、学習成果を外で評価いただく機会として捉え、教育的視点で応募へ向けた学習計画から整理することも必要ではないかと考える。

また、全国農業高等学校長協会では、本年度から「アグリマイスター顕彰制度」という農業学習に取り組む生徒の皆さんの各種検定や資格、競技会等での取り組みを獲得ポイントで評価し、学ぶ目標を明確にする制度が創設された。造園デザインコンクールもその対象になっていることから今後の出品数並びに知識・技術のレベルアップにつながることを期待している。当コンクールの更なる充実・発展を祈念し講評とする。

## ■町田誠委員 (国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

課題となっている2,500㎡程度の空間は、都市内において狭い空間ではないが公園としては決して広くはない。通常であれば、空間を分節化せずに公園全体を見渡すことができる一体の空間構成とし、そこに一つの主題を設けたいところだが、作者は訪れるであろう利用者の多様性に、空間の分節化によって対応しようとしている。

直径20m程度のふたつの円形の広場を中心としてどのような公園の利用が生まれるか。滝の石組みから板張りの広場に沿う流れは心字へと注ぎ、一方のモザイク状にデザインされたアンツーカー舗装の広場はケヤキ、コナラ、ソヨゴ、イロハモミジなどの木々に囲まれている。小さな築山の広場、パーゴラベンチの広場もそれぞれが特徴的な樹種によって個性づけされているが、全体として連続した空間として無理なく配置されている。



(公社) 日本造園学会会長賞 相澤 那樹 東北工業大学大学院

地割や地面の処理の仕方は西洋風であるが、修景的な処理、空間構成要素はかなり和風であって、現代的な都市空間の中の日本風の公園として、多様な年齢層の人々が共存して憩い得る空間の可能性を感じさせる。

## ■篠沢健太委員

((公社) 日本造園学会理事)

(公社) 日本造園学会会長賞は東北工業大学大学院の相澤那樹さんが受賞されました。本作品は、商業空間を対象にボロノイ分割のアルゴリズムを用いた空間構成や落葉や廃棄物の再利用によるメタンガス利用など、新たな技術への積極的な挑戦の独創性、先進性が評価されました。

工業系大学院で建築を専攻する本作品は異分野の提案にありがちな造園との乖離がみられず植栽も適度な納まりで表現されていましたが、これには造園業を営む父親の存在が大きかったとのことでした。

本作品は異分野との協力と違和、反発を経た優れたコラボレーションとしても高く評価できます。今後、建築分野に進んでも、造園に理解ある人材として協働を続けてもらいたいです。

## ■大室徳治委員 (全国高等学校造園教育研究協議会理事長)

街区公園の応募は順調に増加していま

すが、商業施設については、大学生の応募が非常に少ない状態です。高校生については、課題の理解度が進んできたようで、増加傾向です。今後に期待が大きいと思われます。

今回から、全国農業高校長協会から特別賞をいただくことが出来ました。関係諸団体のお力添えに深謝いたします。

作品は、住宅庭園や実習作品に素晴らしい作品が多くあり感激しました。それに比べ、街区公園や商業施設はやや見劣りする作品があり残念でした。町で買い物しながら、公園や広場を使いながら、周囲を観察することも大切かと思います。

全国高校造園教育研究協議会会長賞は、奈良県立磯城野高校の稲本君が受賞されました。本作品は「母への愛」をテーマに、母に対する優しさを、曲線やバラ、花壇で表現したものです。母への気持ちがとても良く現れている作品でした。

次回も多数の素晴らしい作品の応募を期待しております。

## ■鈴木一志委員 (全国高等学校造園教育研究協議会副理事長)

今年も数多くの応募をいただき誠にありがとうございました。特に複数の作品を応募していただいている学校の生徒さんや先生方、大変感謝申し上げます。

毎年のことではありますが、今回も斬新な発想で熱心に取り組まれている作品



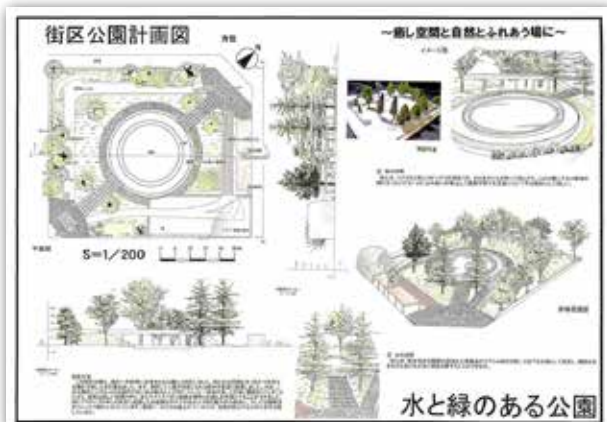
入選 竹内 徹 E & G アカデミー



入選 比企 豊 E & G アカデミー



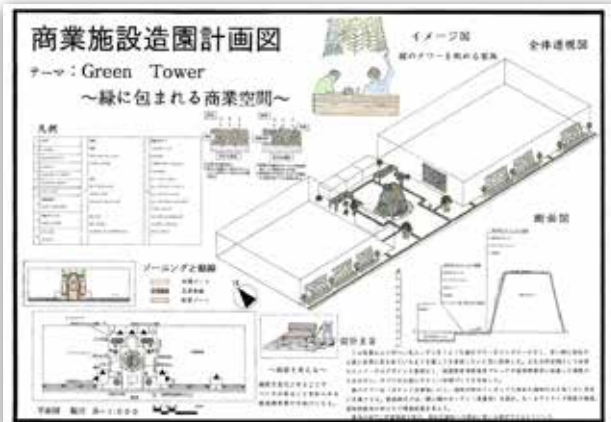
入選 池田 悟 奈良県立磯城野高等学校



入選 端 哉汰 滋賀県立八日市南高等学校



入選 谷口 亮太 滋賀県立八日市南高等学校



入選 高橋 奎吾 長野県須坂園芸・須坂創成高等学校





(一社) 日本造園建設業協会会長賞 和田 優一 滋賀県立湖南農業高等学校



(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞 神田 奈緒 西日本短期大学

が数多く目を引きました。

また、表現方法も様々で、造園デザインのコンクールであることを改めて認識することができました。

今回は住宅部門等の詳細に若干の変更がありました。お気づきになりませんでした生徒さんの応募が気になりました。生徒さん自身が応募要項を確認することはもちろんですが、ご指導されている先生方も応募要領のチェックとともに、課題の変更点を見落とさないようにご注意ください。

■萩野一彦委員 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会理事・技術委員会委員長)

(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞は、全作品の中で、着想・デザイン等の最も優れた作品として、西日本短期大学の神田奈緒さんの実習作品「つながる庭」が受賞されました。

造園デザインの特徴は、植栽による空間デザインであること以外にも、大きな特徴として、設計と施工が一体となって具体化していく行為であること、自然地形を使って風景や環境をデザインしていくことの2点が挙げられます。

この実習作品は、傾斜のある地形と周辺環境との関係をよく理解し、デザインコンセプトの検討から、原寸大までの様々な模型によるスタディをチーム全員で共有した上で、緻密に施工計画をたて

短期間で工事を完成させています。

また、施工中に明らかになった設計上の課題を解決する設計変更も行われたことも確認できました。指導された先生の造園教育理念も含め、造園デザインのありべき姿を感じることができました。

■卯之原昇委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・技術委員長)

今年度の(一社)日本造園建設業協会会長賞には、多くの作品の中から、計画・施工・利用についてもっとも優れた作品ということで、住宅庭園部門から和田優一さん(滋賀県立湖南農業高校)の「露地の系譜」が受賞されました。

作品は、玄関から茶室に通じる露地と

流れを中心とした庭園で、茶道を極めた千利休の露地、弟子の古田織部や小堀遠州の庭など、茶人の庭を取り入れようと一生懸命努力と工夫された様子を伺うことが出来た作品でした。

応募者、指導者の皆様に感謝するとともに、今後も多くの皆様が造園業界に入職され活躍されることを期待しております。

■風間啓秀委員 ((一社) 日本造園建設業協会事業委員会副委員長)

今回は大学の実習作品に優秀な作品が多くその中で私が特に印象に残りましたのは通常では施工に向きと考えられていた階段真下の空間を利用した実習作品

で今後の造園業に一つのヒントを与えてくれた作品と感じました。

今回の(一社)日本造園建設業協会会長賞は昨年国土交通大臣賞を受賞された滋賀県立湖南農業高等学校和田優一さんの作品「露地の系譜」というテーマで露地すなわち茶庭のわびさびを考えデザインされた住宅庭園の作品でした。

今回、前回と2年連続約1割程応募総数が増えており次回に過去最多の第34回464作品を超えることを期待し皆様の御応募お待ちしております。



全国農業高等学校長協会理事長賞 伊藤 亮平 山口県立宇部西高等学校



全国高等学校造園教育研究協議会会長賞 稲本 克基 奈良県立磯城野高等学校



入選 遠藤 佑季 愛知県立猿投農林高等学校



入選 長坂 ちひろ 山梨県立農林高等学校



入選 山口 彩香 新潟県立上越総合技術高等学校



入選 上田 優介 中央工学校



入選 伊藤 安里 東京都立農業高等学校



入選 道本 理奈 山口県立宇部西高等学校



愛媛県をご存じでしょうか？四国をざっと4区画に割ると左上の区画になります。瀬戸内海と宇和海に面した風光明媚な所であり、美味しい魚が沢山獲れ、また養殖業が盛んな県でもあります。

ということで今回ご紹介したいのは「鯛めし」です。「鯛めし」といえば、皆様はどのような物を思い浮かべますか？多分、大多数の方が鯛をお米と一緒に炊き上げる「炊き込みご飯」や「釜飯」を想像されるのではないのでしょうか。もちろん、それも美味しいのですが、今回は、それではなく鯛の刺身を白飯の上に乗せ、生卵をたれや薬味とともに



愛媛県南予地方の郷土料理「鯛めし」



④ 松山城 ⑤ 道後温泉



それぞれの家で若干作り方に差があるものの、少ない具材で出来るシンプルな料理です。但し、魚はとびきり新鮮な物に限ります。海に囲まれた地域だからこそ美味しく頂ける料理です。現在では、メニューの中に「南予の鯛めし」として出されている居酒屋さんや料理屋さんがあるので、観光客の方々にも簡単に食べていただけるようになりました。

松山が誇る「松山城」、郷土の誇り俳人正岡子規を知ることが出来る「子規記念博物館」等を巡り知的好奇心を満足させ、疲れた体を「道後温泉」で癒し、その後、街まで路面電車でのんびりと出かけて、両方の鯛めしを食べ比べるのもよし、地元の美味しいお魚を堪能していただくのもよし、存分に愛媛の魅力を楽しんでいただきたいと思います。〔待つとるけん、おいでもなし〕

中村敏治（成瀬緑化産業株）

## 事務局の動き

- 12月
- 1月・総務委員会（財政・運営部会）
  - ・アクションプログラム推進等特別委員会
  - 4月・登録造園基幹技能者講習（東京）～2/5
  - ・運営会議
  - 5月・九州総支部・支部交流会
  - ・総務委員会（広報活動部会）
  - 9月・事業委員会（造園フェスティバル推進部会）
  - 10月・登録造園基幹技能者講習委員会（試験部会）
  - 13月・第42回全国造園デザインコンクール表彰式
  - 15月・事業委員会（要望・提言活動部会）
  - ・事業委員会（人材育成部会）
  - ・中国総支部・支部交流会
  - ・担い手3法と人材の育成確保、社会保険未

- 加入対策説明会（中国総支部）
- 16月・資格制度委員会（新資格制度検討チーム）
- ・第2回地域リーダーズ勉強会～2/17
- 19月・造園施工管理技術検定委員会
- ・中部総支部・支部交流会
- ・担い手3法と人材の育成確保、社会保険未加入対策説明会（中部総支部）
- 23月・東北総支部・支部交流会
- ・資格制度委員会
- 24月・登録造園基幹技能者講習委員会
- 25月・事業委員会（事業企画部会）
- ・事業委員会
- 28月・シンガポール、台北視察ツアー～3/3
- 13月
- 2月・（一社）日本公園緑地協会国際委員会



## 同じ景色を見て、同じ食事を味わって。

三村弥子・岡矢奈美子  
（株）山都屋

私たちは設計業務を担当しています。

現地調査や特別なご要望のない限り、黙々と？パソコンに向かい、図面を引いています。すでに決まっている物件の詳細を引くこともあれば、病院やマンション、公共施設の設計支援、一般外構やお庭造りの設計をさせて頂くこともあります。

1つの物件につき一人の担当者で対応しますので、パソコンがパートナー、隣の人が何をしているのか分からない事もあり、同じポジションにしながら問題や解決策、役立つ情報の共有がなされず、個人プレーになりがちです。

そこで、数年前から設計課では不定期ながらも一緒に出掛ける機会を設けています。担当は持ち回りで、事前に担当が行き先を提案し、行程は相談しながら大体決めておきます。お庭や歴史的建造物、街並み保存地区、美術館などを巡っています。一緒に映画を観たりもしています。

ここで大事なのが、一緒に過ごすこと。同じ景色を観て、

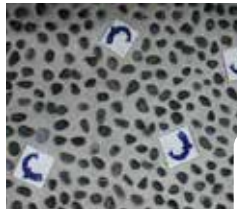


- ・総務委員会（広報活動部会）
- 8月・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 10月・自民党各種団体協議会懇談会
- 11月・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 14月・AIPHスプリングミーティング～17
- 16月・街路樹剪定士認定委員会
- 17月・資格制度委員会（新資格制度検討チーム）
- 22月・総務委員会（財政・運営部会）
- 28月・運営会議
- 29月・総支部長等会議
- ・第2回通常理事会

## 委員会等の活動



大通寺石寿園



港町尾道の築姫小路でみつけた魚のタイル



松山駅醤油飯



ナショナルオーキッドガーデン

同じ道を歩いていると、隣にいる人の人と成り、物の見方、感じ方が分かってきます。新たな視点を貰えること、気付かされることが沢山あります。そうすると個人プレーにならず、問題を抱え込まないでいられます。

実際はそんなに難しく考えているわけではなく、まずはおいしいものが食べられる場所を中心に据え、そこから足を伸ばすことが多いのです。

次はどこに行きますか？

【旅の一部紹介】宿場町矢掛町・早島のいぐさ見学・吹屋町でのベンガラ染付体験と街並み散策・尾道街並み散策・植田正治写真館と米子周辺・剣山・シンガポール・伊予松山電車旅

- 総務委員会（財政・運営部会）
- 平成28年度事業計画案・収支予算案、予算フレーム案等について審議した。(2/1)
- 事業委員会（要望・提言活動部会）
- 今年度、本部・総支部・支部が行った要望・提言活動を取りまとめ、来年度の方針と情報集約の方法について検討した。(2/15)
- 事業委員会
- 本部・総支部・支部の平成27年度事業報告と平成28年度事業計画の審議を行い、要望・提言活動一覧を確認、今後の委員会運営について意見交換をした。(2/25)

## 平成28年4月1日から建退共の制度が一部変わります

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

※上記は略称表記であり、正式名称は次のとおりです。

- 中退共制度：中小企業退職金共済制度
- 建退共制度：建設業退職金共済制度
- 清退共制度：清酒製造業退職金共済制度
- 林退共制度：林業退職金共済制度

Ⅲ. 移動通算できる退職金額の上限が撤廃されます。

- 現在、移動通算できる額には上限が存在し、その上限を超える金額は差額給付金としてその都度被共済者に支給していましたが、その上限が撤廃され、全額が移動先の制度に移換できるようになります。
- これにより、被共済者が退職される際に、まとめて退職金として受け取ることができるようになります。
- ※掛金納付された青証紙部分は適用されません。

お問合わせは、各相談コーナー  
本部 TEL 03-6731-2841  
東京 TEL 03-3551-5276  
大阪 TEL 06-6941-2244  
建退共事業本部または最寄りの建退共支部へ

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
建設業退職金共済事業本部  
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号（ニッセイ池袋ビル）  
TEL 03-6731-2866（ダイヤルイン）  
FAX 03-6731-2895

## 建退共への加入のすすめ

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

- 17万建設事業所が加入、312万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で226万件、1兆6,171億円の退職金をお支払いしています。（平成26年1月末現在）

## 建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援  
（国の助成により掛金の一部が免除）
- ◎掛金は全額非課税  
（損金または必要経費に算入できます）
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単  
（各都道府県の建退共支部で加入）

特長

建退共のホームページを、是非ごらん下さい。 建退共 検索

## あなたがほしい積算情報がここに！

土木コスト情報は実態調査にもとづく土木工事市場単価と下水道工事市場単価、土木工事標準単価をまとめた積算情報誌。予定価格の算出にあたっては正確な単価情報が不可欠。そのためにもぜひ使っていただきたい1冊です。

## 2016年4月(春)号より 土木工事標準単価に3工種が追加されます

- 1. 道路反射鏡設置工  
見通しの悪い交差点やカーブで、死角となる場所にいる車や歩行者の存在を知らせてくれる道路反射鏡の設置・撤去工。
- 2. 仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）  
道路工事中に仮設するガードレールの設置・撤去工。
- 3. バキュームプラスト工  
鋼構造物の錆・旧塗膜、コンクリート劣化部に対して、研削材やケレンカスを飛散させずに素地調整を行うプラスト工法。

Point  
●材工共単価なので、工事費積算が簡単！  
●新設・更新・撤去の全ての工事に適用可能！



2016 1st Edition 土木コスト情報

電話でのお問い合わせ 0120-978-599  
パソコンからのお申込み 建設物価 Book Store 検索

一般財団法人 建設物価調査会

編集後記 人材の育成が課題となっていますが逆境を好機と捉え目標を定め地道に努力する事に如かず！人間修養に近道なし！！